

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
卒業研究		選択	4	4	通年
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
稲場 直子 他	C303	naoko.inaba		水曜日 13:00~15:00 Teams 受付を原則とする	
授業の目的・概要	<p>本科目では、専門知識と実験技術を問題解決に利用できる能力を修得し、さらに計画的に問題解決を遂行する能力を身につけることを目的として、個別のテーマを持って研究を実施する。担当教員の指導のもと、研究テーマの設定、研究計画の立案、分析・解析方法、得た情報のまとめ方を学ぶ。さらに、研究テーマに沿った、実践的かつ基本的な研究手法・研究倫理・文献検索・論文作成方法の知識と技術を習得する。感染症予防のため、実験以外の研究の立案、計画、論文作成、意見交換およびフィードバックについては、メールや Microsoft Teams を活用して行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	<p>本科目の履修を希望する者は必ず 2、3 年のうちに希望分野の教員に相談すること。 3 年次終了時までの必修単位をすべて習得していること。 実験計画は研究指導教員と十分打ち合わせをして進めること。</p>				
教科書	各研究指導教員の指示に従うこと。				
参考書	各研究指導教員の指示に従うこと。				
外部教材	各研究指導教員の指示に従うこと。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	テーマの決定、研究計画の立案を行う。			HSU(2)(6) OT(2)	
②	立案に戻付き情報を集め、まとめる。			HSU(2)(6) OT(2)	
③	研究成果を論述する。			HSU(2)(6) OT(2)	
④	得られた成果を発表する。			HSU(2)(6) OT(2)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
1. 研究計画の立て方・資料の集め方を学ぶ。 2. 関心のある事柄の選定を行う。 3. 研究テーマの検討を行う。 4. 研究テーマを決定し提出する。			意見交換の機会およびフィードバック： 各研究指導教員の指示に従い、随時 Teams 等で実施		
5. 研究計画を立案する。 6. 研究倫理委員会の承認を得る*。			*研究倫理委員会への申請書は研究指導教員が作成する。		
7. 計画に沿って、調査または実験を行う。 8. 結果と考察をまとめる。			意見交換の機会およびフィードバック： 各研究指導教員の指示に従い、随時 Teams 等で実施		
9. 論文を作成する。 10. 研究発表を行い、質疑応答を通じて論文の内容を深める。 11. 卒業論文を提出する。			意見交換の機会およびフィードバック： 各研究指導教員の指示に従い、随時 Teams 等で実施		
学習課題・学習時間					
各研究指導教員の指示に従うこと。					
必要時間 (単位：時間)： 180 時間					

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
			50	50			100
総合力指標	知識・技術力		5	10			15
	思考・推論・創造する力		10	10			20
	協調性・リーダーシップ		5	0			5
	発表・表現伝達する力		5	10			15
	コミュニケーション力		5	0			5
	取組みの姿勢・意欲		10	10			20
	問題を発見・解決する力		10	10			20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	期限内に提出された論文内容で評価する。評価内容は、論文の基本構造を守っているか、またデータの扱いの適切さ、正確な論文引用、論理的に文章が記載されているか等々を評価する。評価割合は 75%とする。			各研究指導教員より履修者に説明する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	卒業研究発表会での発表内容で評価する。評価内容はプレゼンテーションにおけるデータの妥当性のある解釈、論理的に適切な質疑応答ができていないか等を評価する。評価割合は 10%とする。			卒業研究発表会后、各研究指導教員より履修者に説明する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	志茂 聡						
教 員 の 実 務 経 験	担当教員は生理学・解剖学で博士号（医学）を取得している。						
実 践 的 授 業 の 内 容	実験調査を通じて、統計処理方法、文献収集、方法、論文の書き方を習得する。						
そ の 他	感染症予防のため、実験以外の研究の立案、計画、論文作成、意見交換およびフィードバックについては、Teams 等を活用して行う。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスが変更される可能性がある。						